

消費者と提携し地域農業を守る



下郷農協

2019

77 No. 699

November



“実りの秋”北九州市の子どもたちが稲刈りに挑戦

相次ぐ自然災害

家族農業推進で地球温暖化に歯止めを

代表理事組合長 矢崎 和廣



甚大な台風被害

10月12日から13日にかけて、台風19号が東海、関東甲信越、そして東北を通過し、記録的な大雨の影響で、死者・行方不明者や住宅浸水など各地に甚大な被害をもたらしました。

今年は例年以上に豪雨、台風による被害が発生しています。中でも8月27日からの豪雨では佐賀県を中心に甚大な災害となり、台風15号では1都7県で約1万4,000棟に被害が発生し、特に千葉県では長期にわたる停電となり電力会社や国の対応についても問題となりました。続いて台風17号でも九州北部を中心に被害が発生しました。そして、今回の台風19号は10月15日現在でも詳細は判明するに至らないほど各地で河川が決壊し、これまでにない規模での豪雨水害となっています。被害に見舞われました多くの

被災者の皆様に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

2012年、二度の豪雨水害を経験した私たちは、その痛みや復旧・復興に費やす大変さがある程度は理解しているつもりですが、どうぞ一刻も早い復旧・復興をお祈りします。

ひどくなる気候変動

もう日本の何処で災害が発生してもおかしくない状況となっています。

今回の災害は「何十年に一度の災害が発生」と聞きますが、毎年発生している事からも、この国あげて対策を取り組まなければならぬ問題となっています。

その大きな要因になっているのが地球温暖化問題です。台風の発生原因である海水温の上昇も大きく関係していると言われています。

世界では、気候変動で土地は劣化し、食料の安定供給のリスクが高まり、穀物などの価格も上昇し、貧困と飢餓が深刻になっています。

地球温暖化、気候変動に対して真剣に取り組まなければ、こ

の現状はますますひどくなりま

逆行する日本の農業政策

そのような状況の中、日本政府は大企業の利益を優先して気候変動、地球温暖化に真正面から向き合おうとせず、農業政策では家族農業を否定し、農畜産物の自由化、グローバル化を推し進めています。

日本の食料自給率では、「毎段階的に上げて行き2025年には45%を目標とする」などと述べていますが、2016年の食料自給率は37%と過去最低となっています。

この結果を「異常気象が原因である」と政府は言っています。が、大規模農業を推進し、併せていよいよTPP11、日欧EPAを受け入れ、そして日米貿易協定も締結されようとしています。

このままでは食料自給率はますます低下し、日本農業に甚大な影響を及ぼす事は火を見るよりも明らかです。

農業政策の転換で日本の農業、食料の安定供給を守らなければなりません。

日本を守る家族農業

2030年までにSDGs、持続可能な開発目標（誰一人取り残されない事を目指し、先進国と途上国が一九となって達成

すべき目標）の達成を目指す国連は、家族農業が飢餓と貧困、気候変動、資源、雇用などに大きく貢献するとし、「家族農業10年」を推進しています。

このように国際社会では、従来の効率性と利潤を最優先した大量生産、大量消費の流れから持続可能を最優先した方向に大きく転換しており、家族農業の重要性を日本も見つめ直す時期だと思っています。

特に、家族農業によって地域の環境や資源が守られている事、それによって大きな災害のリスクを減少させる事などを考え、そして家族農業推進で食料自給率アップや雇用の増進にもなると思います。

食料はいつでも買える時代ではなくなってきました。

そして食料を輸入に頼る国はその食料を止められると生きて行けません。

考えようによっては、戦争よりも簡単にその国を支配できます。

輸入に頼り、一方でグローバル化を目指し輸出もするという日本の農業政策は、地球温暖化の観点からも転換し、家族農業中心で自給優先の生産と生活をする事こそ日本農業を守っていく道だと思っています。

下郷農協は理念でもあるその事をこれからも続けて行きます。

「OBの皆さんと一緒にちよつとためになるお楽しみ会」

下郷農協女性部

下郷農協女性部は10月12日、「OBの皆さんと一緒にちよつとためになるお楽しみ会」を開きました。

今回はデイサービスセンター横の介護研修センターをお借りして行いました。

今回で6回目となるお楽しみ会ですが、女性部OBをはじめ農協女性組合員の長年の労をねぎらう意味合いもあって毎年開いています。

今年も総勢30名の参加で、大変にぎわいました。

来賓の三上英範中津市議員と越尾喜久男参事のあいさつの後、プログラムに入りました。最初に三上あけみ部長の指導で、歌、手遊び、簡単な体操をしました。

大きな声で2曲の歌を同時に歌い大混乱したり、脳トレになる手遊びなど、皆さん笑顔で楽しく過ごしました。

頭と体を使った後は、アグリキャッツのカッコいい踊りと、高川尚子さんによる手作りの紙

芝居を披露してもらいました。

昼食のお弁当を食べながら「今日は日頃会えない方とも会えて良かった」「とても楽しかった」と感想もいただき、スタッフ一同ほっとしました。

来年も是非開催して欲しいとの声も聞かれ「来年まで皆さん元気で頑張りましょう」と声をかけ合って閉会しました。

参加者の皆さん、スタッフの皆さんお疲れ様でした。



生産者と生協会員が産地見学で交流

野菜生産などこだわり語る

10月4日、グリーンコープおおいたの会員ら約30名が下郷を訪れ、有機野菜圃場や牛乳工場を見学、生産現場で生産者からこだわりや安全・安心に対する熱い想いを聴いていました。

生協会員らは、鷹崎満行有 者らと交流しました。

機野菜生産組合長と野菜組合

役員の溝渕朝江さんの野菜圃場をそれぞれ見学し、栽培方法や生産のこだわり等について詳しく説明を受けました。

また、中島真誠牛乳加工部長の案内で飲むヨーグルト製造施設を見学、製造方法や商品の特徴などについて話を聞きました。

その後、農協食材でバーベキューを行い、野菜生産者や冠地どり生産



(f)

令和の時代に考える

新米と新嘗祭

毎年11月23日は国民の祝日「勤労感謝の日」です。

神社などでは五穀の収穫を祝う新嘗祭（にいなめさい）が行われます。

令和元年の今年も、新しい天皇陛下が

一代一度限りの宮中行事、大嘗祭（だいじょうさい）に臨みます。

あらためて新米と新嘗祭について考えてみましょう。

実りの秋に感謝。新米の季節です

「新米」と聞いただけで、今でも日本人の血が騒ぎます。何しろ、明治の初めには日本人の80%以上は農民だったのです。みんなで力を合わせ、豊作を祈りながら、汗を流してきました。

昨日こそ早苗とりしかいつのまに
稲葉そよぎて秋風ぞ吹く

『古今和歌集』の詠み人知らずの作品。「田植えをしたのは、つい昨日のここのように思えるのに、い

食文化史研究家 永山久夫



つの間にか、稲の葉をそよそよと吹き鳴らす秋風の季節になってしまった」という意味。
季節の移りゆく早さに驚くと同時に、稲に対し、立派に育ってくれてありがとう、という愛情がにじみ出ています。

1年間の苦勞が、実りの秋にずっしりと重たい稲穂になって、報いられたことに対する心からの感謝が表現されているのです。とり入れた新米を天地の神に供え天子みずから口にされてお祝いするのが新嘗祭です。

みそおにぎりはソウルフード

日本中の村々でも、豊作祝いが行われていました。そして、東北地方の農村では、次のような祝い唄が歌われていたのです。

米がとれたらよオ
米のおまんま食えるよオ
富士の山ほどよオ
生みそ添えてね〜

雪のように白い大盛りのご飯に生みそを添えて、好きだけ食べるのは、秋一番の幸せであり、ごちそうでした。新米ご飯は、そのくらい魅力があったのです。



美味だからといって、満腹するまで食べたら、消化不良を起こしかねません。そこで役に立ったのが生みそ。

生みそにはアミノ酸化されたタンパク質が豊富な上に、酵

母やこうじ菌、さらには生きた酵素がたっぷりですから、消化をスムーズにするのにも役に立ちました。炭水化物中心のご飯に不足しがちなタンパク質を供給する上でも、大豆を原料とするみそは重要なパートナーだったのです。

昔は、学校から帰ってくると、母親が生みそを付けた大きなおにぎりをよく作ってくれました。生みそおにぎりは消化が良いから、ぺろりと平らげてもすぐに空腹になったものです。

算数や国語、理科などで小さな頭をさんざん使い、校庭を走り回ったり、学校からの長い道を歩いて帰る途中でエネルギーを使い、体は疲れ切っているので、母親の生みそおにぎりはありがたかったものです。

みそおにぎりは、私たち日本人のソウルフード（魂の食）といっても過言ではありません。

米がとれたらよオ米のおまんま食えるよオー。



良質野菜の安定生産めざし研修

有機野菜組合が育苗施設など見学

9月19日、下郷有機野菜生産出荷組合（鷹崎満行組合長）の会員ら18名が、「適期適作」で自然環境と人に優しい農業を実践している宇佐市のさとう有機農園を訪れ、野菜の苗作りや次代を担う若者の育成の取り組みについて学びました。

さとう有機農園は以前、下郷農協の野菜組合員であった佐藤俊徳さんが独立して「有機農業」を展開、現在は有機JAS認証圃場を330a（内ハウス35a）所持し、8名の生産者で作業を行っています。

また、農業が軌道に乗った数年前からは積極的に次代を担う若者の育成を図るため研修棟の建設を行い、1～2年の研修期間は住み込みしながら農業のノウハウを生産現場で学習することができ環境も整えました。栽培方法にもこだわりがあり、自分たちの作業工程への工夫や配慮を行い、作物の生育適性上、土壌や気候条件により生産性や

作業性の低い品目は作付けを減らし、有機農産物の安定供給や品質向上を重点的な目標として作業することにより、年間30種類程の作物栽培で驚異の売上額を上げていました。

今回の研修では、今後の野菜栽培方法や後継者問題等について深く考えさせられました。

近年は他県からの移住者や地元の後継者加入により、少し先の将来に光が差し込み出したと思いますので、新規就農者の方々を含め、様々な問題にどう向き合い課題を乗り越えられるか一緒に考えなければいけないと感じました。（担当・森山）



家族の健康

風邪を予防するための心掛け

健康科学アドバイザー ● 福田千晶

「寒いから風邪に気を付けて」と言われます。しかし、本当は寒いだけで風邪をひくことはありません。寒い部屋にずっと1人でいたり、1人で屋外作業をしていたりしても風邪をひくことはないのです。

なぜなら、風邪は感染症。つまり、風邪をひいた人が、せきやくしゃみで風邪のウイルスや細菌を放出し、それをどこかで触るなど、そのウイルスや細菌を体内に入れることで、次の人が風邪をひいてしまうのです。

ですから風邪の予防で大切なことは、風邪をひいている人からウイルスや細菌をもらわないこと。そのためには、なるべく人混みに出ない、電車やバスを利用したり、多くの人が行き交う駅を通った後は、せっけんを使い流水で丁寧に手を洗きましょう。うがもした方が良いでしょう。



マスクは風邪予防の効果は期待できないといわれていますが、喉が保湿できる上、ウイルスが付着した手で口や鼻を触らないため、風邪にかかりにくくなります。風邪をひいた人がマスクをすることは、ウイルスをまき散らさないため他の人に感染させないエチケットとして大切です。また、家族で風邪をひいた人がいたら、トイレのタオルや洗面所のコップなどの共用はやめましょう。

口の中には風邪やインフルエンザのウイルスの感染を助けてしまう「プロテアーゼ」という酵素があります。就寝中に増加するプロテアーゼは、起床時に丁寧に歯磨きやうがいをして、洗い流しておくことも風邪の予防につながります。

日頃から睡眠不足や過労を避け、栄養バランスの取れた食事を心掛け、体を冷やさないことも大切です。寒さを我慢していると、外から入るウイルスや細菌と戦う力が弱まり、風邪をひきやすくなります。ですから「寒いから風邪をひく」のではなく「寒いと風邪をひきやすい体になる」が正しいのです。



大きいカエルを見つけて大よろこび

水田の生き物にも触れながら 稲作生産者と一緒に米作り体験

10月12日と10月19日に、下郷農協健康米生産組合（鷹崎満行組合長、会員20名・2法人）は、北九州市門司区の「学童クラブすだち」の子ども達と、同市八幡西区の「認定こども園ちいさいおうち共同保育園」の園児やその保護者らを招き、稲刈り交流会を開きました。

この交流会は食育の一環として、6月の田植え、10月の稲刈り、12月の餅つきなど、一年を通して体験を計画しています。

圃場に到着した子ども達は、生産者から稲刈りのやり方を教わり田んぼの端から稲を刈って行きました。稲刈り用の「ノコギリカマ」を上手に使い、上級生は生産者から刈った稲をワラで束ねるやり方を教わりながら掛け干しをして行きました。

無農薬栽培の田んぼには、「ミミズ・カマキリ・コオロギ・バッタ・イモリ・カエル・ヘビ」などの生物がたくさんいて、見つけた子ども達は驚きながらも大喜びでした。

稲刈り後の昼食は、農協の敷地内で生産者と一緒にバーベキューで交流しました。

「今年は天候不順や病害虫の発生で作柄は厳しかったが、子供たちの喜ぶ笑顔を見て、来年も頑張って安全安心な米を作る元気が出た」と生産者は話していました。



生産者の手ほどきで稲を束ねる子ども達

人事異動

【退職】

9月30日付けで、松本聡雄（参事）が一身上の都合により退職しました。

【昇格】

10月1日付けで、越尾喜久男（購買部長）・藤田誠二郎（管理部長）が参事（現行部長兼務）に昇格しました。

「年賀はがき」購入受付中

お年玉くじ付き「年賀はがき」が、11月1日（金）から販売開始となります。

購入申し込みは、下郷農協（管理部）でも受け付けていますので、ご利用ください。

大分信連 下郷出張所より

「定期性貯金期日のご案内」および「定期積金期日のご案内」発送終了について

誠に勝手ながら、2019年10月31日作成分をもちまして、発送を終了させていただきます。満期日などにつきましては、お手元の通帳、証書などをご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

大分信連 下郷出張所

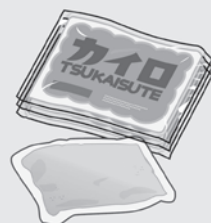
Tel 0979-56-3010

購買ふれあいの店

11月23日（土）は、「勤労感謝の日」

勤労感謝の日は、**国民の祝日に関する法律**（祝日法、昭和23年7月20日法律第178号）第2条によれば、「**勤労**をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」ことを趣旨としているとあります。

購買ふれあいの店では、ご来店いただいた働く方々へ感謝をこめれ「ほっカイロ」を先着100名様へプレゼントします。これからの季節、外での作業は寒いですのでそんな時は「ほっカイロ」でほっと温まってもらえたらうれしいです。



お買い得情報!!

ポイント2倍セール

11月23日(土)は毎月恒例のポイント2倍デーです。

今回は「国産黒毛和牛(経産和牛)1,000円」企画を行います!!

下郷農協の黒毛和牛は、安全でバランスのよい稲わらを中心に与え、配合飼料には遺伝子組み換えでない大豆やトウモロコシ（収穫後に農薬を散布していない）を使用しています。

黒毛和牛本来の味わい深いお肉をお召し上がりください。

- ☆黒毛和牛モモステーキ
- ☆黒毛和牛モモしゃぶしゃぶ用
- ☆黒毛和牛モモ焼肉用
- ☆黒毛和牛モモスライス



その他、たくさんのお買い得商品を取り揃えてご来店をお待ちしております!!

じゃんけんで 真剣勝負!!



10月14日(月)体育の日では、ご来店いただいたお子様と店員がじゃんけんゲームを行い、勝ったら牛乳・カフェオーレ・飲むヨーグルトの中から好きな商品をプレゼントしました。子ども達との真剣勝負!!

店員も楽しい時間を過ごすことが出来ました。乳製品を飲んでこれからの季節も元気に過ごしてもらいたいです。



中津市プレミアム商品券の 取扱いをしています。

使用期間 令和元年10月1日(火)
～令和2年3月1日(日)

購買ふれあいの店

直通電話：0979-56-2225

営業時間：平日 8：30～18：30

土・日・祝日 8：30～17：00

月曜日：牛乳の日 火曜日：冠地どりの日

水曜日：お豆腐の日 木曜日：お魚の日

毎日お得な商品を販売しています。

組合員の皆さまへお知らせ

～組合員資格の確認について～

いつも下郷農協をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
組合員の皆さまに組合員資格について組合加入当時よりご変更がないか、ご確認をお願いいたします。

1. 氏名・住所の変更のあった方
2. 正組合員から准組合員への資格変更
 農業を辞められた方 1年のうち90日以上農業に従事しなくなった方
 農業経営を辞めた法人
3. 准組合員から正組合員への資格変更
 農業を始めた方 1年のうち90日以上農業に従事する方 農業経営を始めた法人
4. その他の変更
 相続による名義変更が必要な方
 農業を辞めた方で農用地利用集積計画にもとづき利用権を設定し、農用地利用改善事業実施団体の構成員となっている方

上記に該当する組合員の方は、下郷農協（管理部）までご連絡を下さいますよう、お願い申し上げます。
2019年11月

※組合員資格につきましては、当農協定款第12条に基づきます。

<お問い合わせ先> 下郷農業協同組合（管理部） TEL：0979-56-2222

理事会だより

9月25日に第6回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

第1号議案：8月決算承認の件

第2号議案：指定居宅介護支援事業所運営規程の変更について

第3号議案：固定資産の処分について

その他

- ・第1号議案の8月決算承認の件については、事業利益△2,884千円の計画に対し△11,737千円で8,853千円の未達成となりました。
事業利益は計画対比で、収益部門のうち惣菜1,263千円・診療所668千円・購買566千円が達成、貸付2,895千円・販売2,635千円・販売商品1,411千円・牛乳1,187千円・農産1,055千円等が未達成となりました。
- ・第3号議案の固定資産の処分については、定款第52条（理事会の決議事項）に基づき、農協本所に隣接する建物及び宅地等の固定資産を処分するための処分方法・処分価格・その他の内容について付議・承認を受けました。

読者プレゼント

パズル?

頭の体操



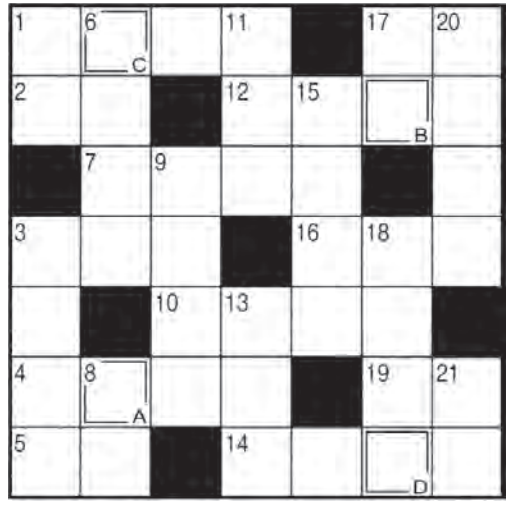
Q 二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

タテのカギ

- 1 ピーヒャララと吹きます
 - 3 ご指導ご一しのほどよろしくお願ひします
 - 6 車を運転するのはドライバー、バイクの場合は
 - 8 日本人の主食です
 - 9 ピサの斜塔がある国
 - 11 穂が美しい野草
 - 13 大きく立派な家のこと
 - 15 彼は上司にも一置かれる存在だ
 - 17 生兵法は大——のもと
 - 20 果物のこと。和食のコースでデザートこう呼ぶことも
- 映画や小説の大まかな内容のこと
 富有、次郎などの品種があります

ヨコのカギ

- 1 ボジョレー・ヌーボーを輸出する国
- 2 沖縄の海にいるマンタもこの仲間
- 3 アルファとガンマの間です
- 4 一つのコンセントに多くの機器をつなぐ一配線
- 5 マニキュアを塗る物
- 7 とても良いとされるおみくじの運勢
- 10 不要な部分を省いて描きます
- 12 灰皿にたまる物
- 14 結婚式を行うこと
- 16 カエデの別名です
- 17 化粧水や乳液でスキン——をした
- 19 絵を描く職業の一つ



先月号のこたえ



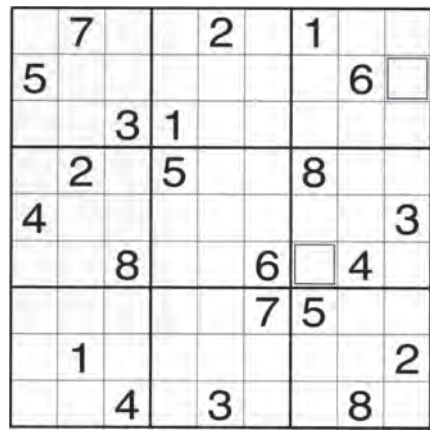
先月号のこたえ 「ジャガイモ」
 当選者
 北九州市八幡東区 原 貞子 様

先月号のこたえ

1	7	4	5	2	9	8	3	6
2	8	5	4	3	6	9	7	1
6	9	3	1	7	8	5	2	4
5	3	8	2	9	4	6	1	7
4	6	2	7	8	1	3	5	9
7	1	9	3	6	5	2	4	8
3	5	6	8	1	7	4	9	2
8	2	7	9	4	3	1	6	5
9	4	1	6	5	2	7	8	3

先月号のこたえ ③+④=7
 当選者
 北九州市小倉北区 白石 信之 様

解答は次号で



《数独のルール》
 ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
 ②タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

数独 (すうどく)

応募方法

クイズの正解者の中から抽選でそれぞれ一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇一九年十一月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ
- (パズル? 頭の体操の場合) クイズのこたえ 数字の合計 (数独の場合)
- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見ご要望など以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七一一〇四三二

大分県中津市耶馬溪町 大字大島 二一五―四
 下郷農協 企画部 宛
 Faxの方は
 ○九七九一五六―二八八九
 *個人情報他者への開示は一切致しません
 当選者には農協商品をお届けします。

ふれあいの店に応募箱を設置しています。
 たくさんのお応募お待ちしております!!

